

「小沢さんは白黒つけた方がいい。民主党政権の足を引っ張っているだけだ」と、公然と批判する。小泉政権時に地方は切り

# 出

ないと、変化は期待でき 場合じゃない、景気を伺ないかもしれない。その とかしてほしいというの小沢さんが何でこうなっ がみんなの願いだ。お客 ちゃんだろう」と首を さんももう小沢さん一辺 倒という感じではない」



# 景

したのではないかと悔 やむ。「いつか総理大臣に なり、国民のために働い てほしかったのに残念」とあきらめ顔になった。

## 本音の コラム



井形 慶子

二十数名で月刊誌を発行する私の出版社も、多分に漏れず人材獲得に苦慮している。

そんなわが社に今日、東京労働局より手紙が届いた。開けてびっくり、大学生を含む学生を二週間実習生として受け入れると、一名に付き一日三千四百円の謝金ももらえるというのだ。入力から校正まで、山ほど仕事はある上、学生の研修にも最適と、早速ハローワークに電話を入れた。

## 企業実習 誰のため

ところが「新卒者企業実習推進事業」の実情は惨憺たるもの。国家予算一・八億円を計上し、昨年九月に開始したが参加した学生は全国わずか六人、東京はゼロ人とい

う。まず学生が二週間ものタダ働きにバイトがまじるとそっぽ向き、研修した企業も学生に採用の話をしてはならないと縛る。「職業意識の向上」が目的というが「私が学生でもやりませんよ」とハローワークの職員。三者三様、利にならない。驚くことに助成金になるという理由で謝金も企業ではなく従業員の個人口座に支払われ、会社に渡すのも禁止とか。お上の空論は果てしない。



## 城崎温泉専用決済システム

ちょっと旅館に付けといて。客の宿泊旅館を浴衣で識別し、付け払いに感じる慣習が一部に残る兵庫県城崎温泉で、携帯電話やバーコードを使って支払うシステムが導入されている。財布を持ち歩かず土産物を買ったり、食事をしたりして、旅館でまとめて精算する現代風の「付け払い」。柳並木の温泉街では、手ぶらでそぞろ歩きを楽しむ宿泊客が増えている。

地酒を多くそろえる温泉街の酒店。バーコードホルダーを首から下げた浴衣姿のカップルが入ってきた。商品を選び、支払いはレジ横に備え付けられた読み取り機に、バーコードをかざすだけ。「手ぶらで歩けるのはすごく便利。外湯に

# お代は旅館に付けといて

話題の発掘

「タイ」など、専用端末にかざせば個人認証できるものを使う。利用者は旅館のチェックイン時、専用端末にかざして利用登録する。

入ってから来たんです。温泉に入るのに財布を持って行くのは、なくしそうでし面倒」と大阪府貝塚市から来た看護士の北田知也さん(56)は満足そう。

システムは、温泉側 携帯電話やカード、パの要望を受けた独立行政法人産業技術総合研究所(東京)が二年かけて開発した。城崎温泉で昔からある「旅館付け払い」に着目。開発担当者は「地域活性化のためのシステム開発に取り組んでいたと

## 携帯・バーコードで街歩き

思った」と話す。電子マネー機能を搭載したICカードや携帯電話「おサイフケータイ」など、専用端末にかざせば個人認証できるものを使う。利用者は旅館のチェックイン時、専用端末にかざして利用登録する。

買い物は、バーコードをかざすだけ。兵庫県豊岡市城崎町で